平成29年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月９日

上場会社名　株式会社アイビー化粧品　上場取引所　東
コード番号　4918　ＵＲＬ　http://www.ivy.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）白銀 浩二
問合せ先責任者　（役職名）取締役 経理部 部長 兼 経営管理部 部長　（氏名）中山 聖仁　ＴＥＬ　03-6880-1201

四半期報告書提出予定日　平成28年11月10日　配当支払開始予定日　平成28年12月９日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．平成29年３月期第２四半期の連結業績（平成28年４月１日～平成28年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年３月期第２四半期	3,459	17.6	742	12.4	746	12.9	460	17.3
28年３月期第２四半期	2,943	26.5	660	91.0	661	80.4	392	70.2

（注）包括利益　29年３月期第２四半期　469百万円（19.7%）　28年３月期第２四半期　391百万円（68.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年３月期第２四半期	232.44	―
28年３月期第２四半期	198.11	―

※　平成28年10月１日付で普通株式10株につき１株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、１株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年３月期第２四半期	7,488	3,067	41.0
28年３月期	5,651	2,897	51.3

（参考）自己資本　29年３月期第２四半期　3,067百万円　28年３月期　2,897百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年３月期	―	0.00	―	15.00	15.00
29年３月期	―	10.00			
29年３月期（予想）			―	300.00	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※　平成28年10月１日付で普通株式10株につき１株の割合をもって株式併合を実施しております。平成29年３月期（予想）の１株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「－」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年３月期（予想）の１株当たり期末配当金は30円となり、１株当たり年間配当金は40円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

３．平成29年３月期の連結業績予想（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400 ～8,200	143.3 ～158.8	1,800 ～2,200	285.5 ～348.9	1,800 ～2,200	287.5 ～351.4	1,100 ～1,400	314.3 ～400.0	554.80 ～706.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※１．平成29年３月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。

２．平成29年３月期の連結業績予想（通期）における１株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年３月期の連結業績予想（通期）における１株当たり当期純利益は55円48銭～70円61銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年３月期２Ｑ	2,552,000株	28年３月期	2,552,000株
②　期末自己株式数	29年３月期２Ｑ	569,310株	28年３月期	569,045株
③　期中平均株式数（四半期累計）	29年３月期２Ｑ	1,982,841株	28年３月期２Ｑ	1,983,123株

※　平成28年10月１日付で普通株式10株につき１株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

平成28年11月９日付で金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の「独立監査法人のレビュー報告書」を受領しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２.当社は平成28年６月29日開催の第41期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月１日を効力発生日として、普通株式10株につき１株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株への変更）を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合と株式併合を考慮する場合の平成29年３月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

（１）平成29年３月期の配当（１株当たり配当金）

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
第２四半期末	10円（注）	100円
期末（予想）	30円	300円
年間・合計（予想）	40円	400円

（注）第２四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

（２）平成29年３月期の連結業績予想（１株当たり当期純利益）

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
通期	55円48銭～70円61銭	554円80銭～706円11銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計会計期間におけるわが国経済は、雇用環境が改善していく兆しはあるものの、各種政策の実効性や、海外景気や金融市場の変動による下振れが懸念され、景気回復に停滞感も漂っております。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

創立40周年を迎える平成28年度は企業テーマに「Ｗｉｔｈ」を掲げ、全ての戦略と支援の方向について、販売会社増設と組織づくりに焦点を当て、目の前の人の可能性を信じて本気でかかわり、お互いに刺激し合うことで共に自己成長し、「なりたい自分になる」、「自身のもつ販売功績レコードを更新する」ことを全社、全販売組織をあげて推進しております。

当四半期は、お手入れの手応えを高めるためのエイジングケア製品として「レッドパワー セラム」を、節目となる創立40周年に発売できる喜びと期待感を全国の多くの販売組織と共有し、一人ひとりの方の“夢の実現”に向けて全社一丸となり取り組んでまいりました。また、早期から徹底して継続してきた該新製品の販促プロモーションや先行予約促進、販売組織づくりの展開も相まって当該新製品は９月発売前までに60万本超の受注をいただき過去にない取り組みにつながりました。営業所増設、ビューティマネージャー増員は前年同期比でそれぞれ12.8%増、14.3%増へ、販売員育成教育においても継続促進を行い、上級販売員向けの教育への動員は、前年同期比で約3.4倍となり、当社の強みである「製品力」の発信と「教育力」の推進を行いました。

そのような動きを背景に、当該新製品の調達・製造においてさまざまな努力をしてまいりましたが、受注の約４分の１にあたる出荷が第３四半期にずれ込むこととなりました。また、一部財務内容に懸念のある販売会社への出荷については、通常の入金期日までの入金見通しをもとに売上高を保守的に計上することとしており、製品を出荷したものの当第２四半期連結累計会計期間の売上高に計上しなかった分が当初見積もりよりも増加しました。その結果、当四半期の売上面におきましては、期首の目論見より減少はしたものの、前年同四半期比で増収となりました。

利益面におきましては、売上総利益が増加したこと、販売費及び一般管理費の継続低減努力により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同四半期比で増益となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高3,459,910千円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益742,119千円（同12.4%増）、経常利益746,849千円（同12.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益460,889千円（同17.3%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を計上するものの、売上債権の増加、貸付による支出、配当金の支払があったことにより、当連結会計年度期首残高に比べ472,976千円減少し、当第２四半期連結会計期間末には715,748千円となりました。

また当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は739,075千円（前年同四半期比609,417千円増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益746,849千円、貸倒引当金の増加額150,005千円、未払金の増加額195,868千円、未払費用の増加額176,407千円等があるものの、売上債権の増加額1,966,661千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は115,732千円（前年同四半期比50,524千円増）となりました。

これは主に貸付金の回収による収入30,252千円があるものの、貸付けによる支出120,558千円、無形固定資産の取得による支出19,442千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は384,549千円（前年同四半期は285,084千円の使用）となりました。

これは主に配当金の支払額296,450千円、社債の償還による支出62,000千円等があるものの、社債の発行による収入785,635千円等があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月１日で創業40周年目を迎え、今後の当社の業績見通しは、明るいと考えております。今上期におきましては、浸透美活液「レッドパワー セラム」を発売し、非常に好評な中で、多くのご注文を頂くこととなりました。生産が間に合わず出荷できなかったご注文も、今下期におきましては、リカバリーし生産および出荷の予定です。引き続き販売員の育成につとめ、「レッドパワー セラム」の拡販、「コスモスシリーズ」の拡販、美白製品およびレギュラー製品の底上げに努めて参ります。また、平成29年春には、大型スキンケア製品の発売も予定しております。そのため、平成28年９月28日に公表しました通期業績予想を達成出来る見込みであります。そのような見通しを踏まえ、昨日開示しましたとおり、今期末配当予想も、従来予想の１株当たり200円から、１株当たり300円に上方修正致しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号　平成28年６月17日）を第１四半期連結会計期間に適用し、平成28年４月１日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ250千円増加しております。

（４）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年３月28日）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成28年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,188,725	715,748
受取手形及び売掛金	1,488,871	3,455,533
商品及び製品	453,895	500,460
仕掛品	7,507	16,963
原材料及び貯蔵品	216,583	173,840
その他	174,568	544,888
貸倒引当金	△13,139	△105,848
流動資産合計	3,517,012	5,301,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	348,236	348,382
機械装置及び運搬具（純額）	50,330	49,373
土地	521,190	521,190
リース資産（純額）	5,942	5,028
その他（純額）	22,200	39,455
有形固定資産合計	947,899	963,430
無形固定資産	22,388	37,843
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	328,538	325,999
投資不動産（純額）	259,607	257,179
差入保証金	325,296	324,635
その他	307,253	381,019
貸倒引当金	△66,583	△123,879
投資その他の資産合計	1,154,112	1,164,955
固定資産合計	2,124,400	2,166,229
繰延資産		
社債発行費	10,172	20,550
繰延資産合計	10,172	20,550
資産合計	5,651,585	7,488,366

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成28年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	418,695	467,481
短期借入金	390,000	350,000
1年内償還予定の社債	124,000	254,000
未払法人税等	239,043	561,867
賞与引当金	100,533	154,560
ポイント引当金	235	212
返品廃棄損失引当金	20,000	20,000
その他	449,530	992,107
流動負債合計	1,742,038	2,800,229
固定負債		
社債	888,000	1,496,000
その他	124,064	124,734
固定負債合計	1,012,064	1,620,734
負債合計	2,754,102	4,420,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,567,055	3,730,502
自己株式	△1,701,863	△1,703,529
株主資本合計	3,013,192	3,174,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,161	10,300
土地再評価差額金	△117,871	△117,871
その他の包括利益累計額合計	△115,709	△107,570
純資産合計	2,897,483	3,067,402
負債純資産合計	5,651,585	7,488,366

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
売上高	2,943,174	3,459,910
売上原価	503,525	554,756
売上総利益	2,439,648	2,905,154
販売費及び一般管理費	1,779,490	2,163,034
営業利益	660,158	742,119
営業外収益		
受取利息	1,720	3,100
受取配当金	205	269
受取賃貸料	22,885	20,294
業務受託手数料	6,319	11,865
雑収入	6,149	12,168
営業外収益合計	37,280	47,697
営業外費用		
支払利息	5,906	5,182
賃貸収入原価	23,635	22,229
雑損失	6,492	15,555
営業外費用合計	36,035	42,966
経常利益	661,403	746,849
税金等調整前四半期純利益	661,403	746,849
法人税、住民税及び事業税	276,259	529,295
法人税等調整額	△7,736	△243,335
法人税等合計	268,523	285,959
四半期純利益	392,879	460,889
親会社株主に帰属する四半期純利益	392,879	460,889

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日）
四半期純利益	392,879	460,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△990	8,138
その他の包括利益合計	△990	8,138
四半期包括利益	391,889	469,028
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	391,889	469,028

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成28年４月１日 至　平成28年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	661,403	746,849
減価償却費	50,740	43,343
賞与引当金の増減額（△は減少）	45,993	54,027
貸倒引当金の増減額（△は減少）	9,500	150,005
返品廃棄損失引当金の増減額(△は減少)	△10,000	-
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△7,756	2,538
受取利息及び受取配当金	△1,926	△3,369
支払利息	5,906	5,182
為替差損益（△は益）	784	2,718
売上債権の増減額（△は増加）	△758,375	△1,966,661
たな卸資産の増減額（△は増加）	△91,951	△13,277
仕入債務の増減額（△は減少）	△125,498	48,785
未払金の増減額（△は減少）	28,709	195,868
未払費用の増減額（△は減少）	94,214	176,407
未払役員退職慰労金の増減額（△は減少）	△420	-
未払消費税等の増減額（△は減少）	8,870	57,668
その他	6,203	△12,842
小計	△83,600	△512,756
利息及び配当金の受取額	1,933	3,339
利息の支払額	△5,817	△5,042
法人税等の支払額	△42,173	△224,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	△129,657	△739,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,424	△5,655
無形固定資産の取得による支出	-	△19,442
貸付けによる支出	△11,751	△120,558
貸付金の回収による収入	9,681	30,252
差入保証金の差入による支出	△346	△142
差入保証金の回収による収入	50,732	1,314
定期預金の預入による支出	△45,000	-
会員権の取得による支出	△17,100	△1,500
会員権の売却による収入	7,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,207	△115,732
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△240,000	△40,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△949	△969
社債の発行による収入	195,882	785,635
社債の償還による支出	△42,000	△62,000
自己株式の取得による支出	△255	△1,666
配当金の支払額	△197,762	△296,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,084	384,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	△784	△2,718
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△480,733	△472,976
現金及び現金同等物の期首残高	1,314,425	1,188,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,691	715,748

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（株式併合）

当社は、平成28年６月29日開催の第41期定時株主総会において、株式併合（10株を１株に併合）、単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）及び発行可能株式総数の変更（80,000,000株から8,000,000株に変更）に係る議案が承認可決されました。当該決議に基づき、平成28年10月１日付で、平成28年９月30日の最終の株主名簿に記載された株主の所有株式数を基準に、普通株式10株につき１株の割合で株式併合を実施しております。

これにより、株式併合後の発行済株式総数は22,968,000株減少し、2,552,000株となっております。